

# ひまわり

令和5年10月号



↑カラー版はこちらから

## 『ひまわり祭に向けて』

校長 門脇 伸也

日本各地の紅葉のお知らせも目にする機会が増えてきました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。紅葉という言葉、霜や時雨の冷たさに、葉が揉み出されるようにして色づくことから「揉み出づ」～「もみづ」～「もみじ」と転訛（てんか）したという説もあるそうです。

さて、11月3日は隔年開催の『ひまわり祭』となります。

皆様にお伺いいたします。大人になっても傍に置いておきたい絵本とは、どのようなものですか。

その一冊に絵本作家のレオ・レオニの作品は、いかがでしょうか。

今回、ひまわり祭では低学年こすもす・すみれグループでは、レオ・レオニの作品『スイミー』を題材に劇を作りました。『スイミー』は、小学校低学年の国語の教科書にも載っている作品で、たくさん子どもたちに知られている作品です。一匹だけ黒い魚のスイミーが大きな魚の目を演じ、他の魚たちと協力し、大きな魚の形をして泳ぎます。この絵から、私たちは互いの違いを乗り越えて協力すれば、豊かな経験と成果を得ることができることを教えてくれます。

また、この物語は、個々の個性や才能を尊重し、力を合わせることで大きな成果を生み出すことの意義をも教えてくれます。

一人一人の児童がこの劇の中で、どんな役を演じるかは、観劇してのお楽しみとなります。が、一例紹介しますと、児童Aはピンクサンゴの役を演じます。自立活動の学習時間では、この児童が校舎の階段を使って歩行訓練をしている姿に会います。児童Aのピンクサンゴは、ピンク色のビニール紐で作ったスカート風の衣装で表しています。そこにクマノミ（魚の名前）がピンクサンゴの中に見え隠れします。児童Aが歩くと、ピンクサンゴの中にもいたクマノミの姿が見え隠れするように見えます。

児童Aにとっては、正しく身体を動かし歩行する学習の成果を生かした大切な役作りです。

特別支援学校では、楽しく学びつつ、学習の成果を日常の生活に生かせるようにしていくのが目的の1つであり、『ひまわり祭』では、一人一人の児童・生徒が主人公として、成果を見せてくれます。

さらに、教職員や観劇する方々は、改めて学ぶことの大切さを確認できます。私たちの学校では、全ての児童・生徒が尊重され、どんな障害や特性があっても平等に教育活動の行われることを大切にしていきたいと願っています。同時に「共に生きる喜びを大切にする子」の育成を願って教育活動を行っています。

改めて、大人になっても、大人になったからこそ傍に置いておきたい絵本は、ありますか。そのような絵本をお子様と御覧になる時間を大切にしていきたいでしょう。

最後に、11月3日～11月下旬（期間は多少変更あり）には、本校のエントランスにて写真家・山本美里さんの作品展示を行います。山本さんは肢体不自由のお子さん育てている母親であり、写真家です。全国で個展を通して、メッセージを発信しています。作品を通して、見る方御一人御一人でメッセージを読み解いてみてください。

益々、朝夕の冷え込みが増してまいります。皆様、御身体を御自愛ください。





## 「中学部 修学旅行」



4年ぶりに宿泊行事が再開することになり、その第1弾が中学部の修学旅行となりました。3年生2名と教職員で、1泊2日の品川エリアでの修学旅行に行ってきました。

1日目の午前中は、清泉女子大学敷地内にある旧島津家本邸の見学をしました。重要文化財の建物に実際に入り、学生の解説を聞きながら見学するという貴重な体験ができました。午後は、講堂でジャズライブの鑑賞をしました。生演奏の迫力に圧倒されたり、リズムに乗ったりして、それぞれ楽しんでいる様子でした。夜には宿泊先近くのアクアパーク品川で夜のイルカショーを鑑賞しました。宿泊行事ならではの特別な体験になりました。

2日目は、再びアクアパーク品川で様々な海の生き物の展示を見学しました。光の演出で楽しく笑顔になったり、不思議な模様の魚を真剣な表情で見つめたり、ゆらゆら揺れるクラゲを見て心地よくなったり、たくさんの良い表情を見ることができました。

2名の生徒が元気に最後まで修学旅行を楽しめたことが、私たち教職員にとって何よりも嬉しいことです。保護者の皆様をはじめ、様々な方に御協力をいただき、無事に1泊2日の修学旅行を終えることができました。改めて感謝申し上げます。



## 「訪問学級の校外学習（オンライン工場見学）」

訪問学級では、オンラインでマヨネーズの工場見学を行いました。私たちにとって身近な調味料の一つであるマヨネーズが、どのようにして、私たちの食卓に並ぶのかを学びました。

オンライン工場見学では、普段は入ることができない製造工場の中を中継していただきました。卵を割る機械や、マヨネーズが容器に入れられる様子を近くで見ることができました。また、「マヨネーズは、腐るか・腐らないか」「材料に使われる卵黄以外の、卵白、卵殻膜、殻は、そのまま捨てられているか」という〇×クイズなどを通して、マヨネーズに関する豆知識や、環境に関する会社の取り組みについて楽しみながら学ぶことができました。

見学中は、どの児童・生徒も一生懸命に〇×クイズの答えを考えたり、メモを取ったり、進んで質問したりするなど、充実した時を過ごしました。



## 「4・5年生一日校外学習」

4・5年生は一日校外学習で、戸山サンライズと障害者福祉センターに行ってきました。最初に福祉センターへ行き、利用者さんの仕事場やレクリエーション活動を見学させていただきました。新宿養護学校の卒業生がたくさんいて、昔の話を聞くことができました。次に、子供達一人一人が、手作りの葉書を購入しました。素敵な葉書がたくさんあり、どの子も選ぶのが楽しかったようです。「買いたい物を選ぶ→品物とお金を渡す→受け取る」という事前学習で学んだことを活かすことができました。戸山サンライズでは、ポッチャ大会を行いました。白熱した戦いとなり大、盛り上がりでした。午後の活動は、購入した葉書に思い思いのメッセージを書き、ポストへ投函しました。帰りのバスや事後学習では、言葉や表情からも楽しかった様子が伝わってきました。来年度は、戸山サンライズに宿泊する移動教室が予定されています。今年度のことを活かし、活動に取り組んでいきたいと思ひます。



## 「中学部 学校間交流」



10月4日(水)に西新宿中学校に行き、E組の生徒と交流を行いました。コロナ禍の中、昨年まではオンラインでの交流となっていたのですが、今年度は4年振りに対面で行うことができ、生徒・教員共に直接交流できることに喜びを感じました。

当日は、E組の生徒が車いすを押して昇降口から体育館まで移動し、交流を開始しました。開会式では、両校の代表生徒が司会や挨拶を行い、その後、E組の生徒が取り組んでいるバスケットボールのシュートを披露してもらい、歓声が上がりました。そして、新宿養護学校とE組で8つの混合チームに分かれ、投球順を決めるなどのコミュニケーションを取りながら、ボッチャの試合に臨みました。試合中も「どの方向に投げる?」、「ランプの向きは?」と相談しながら、試合を楽しむことができました。両校の生徒全員が楽しみ、また来年も交流したいと思える学校間交流を行うことができました。

## 「新宿区教育課題研究校研究発表会について」

10月11日(水)、新宿区的全教職員へ向けた「新宿区教育課題研究校研究発表会」を開催しました。新宿区の公立小学校・中学校の教員が各校2名ずつ来校し、2年間に渡る研究の成果と課題を発表しました。本校の研究発表の後、校内の見学と本校で使用しているICT機器の紹介や体験会を行いました。ICT機器の紹介や体験の際には、視線入力装置やスイッチなど、様々な見慣れない機器に参加教員が驚く姿が多く見られました。最後に、本校教員1名と来校した教員で2~3名の小グループを作り、協議会を行いました。本校の取り組みを知ってもらい、他校とのつながりを作る良い機会となりました。

また、来校しない教員は、オンラインで参加していただき、Teamsのオンライン機能を活用して校内の施設見学と、教育用のWEBアプリの演習を行いました。

演習では、①C board、②Teach U、③Chrome music labの3つのホームページを使用し、以下の内容でオンライン演習を行いました。

- ① 代替コミュニケーションの体験や編集
- ② 無料で公開されているパワーポイント教材の活用方法
- ③ タップ操作での作曲方法や、「かえるの歌」を例とした教材の保存・共有方法

3つのホームページとも、オンライン環境さえあればインストールの必要がなく、OSに左右されずに活用できる点が新宿区のGIGAスクール端末に向いています。

児童・生徒のiPadや御家庭のスマートフォン・タブレットからも利用できますので、二次元コードからぜひ御覧ください。

最後に、各御家庭におかれまして、当日下校時間の変更にご対応いただき誠にありがとうございました。

- ① C board                      ② Teach U                      ③ Chrome music lab

